

Yamato Welfare Foundation
ヤマト福祉財団

発行部数14万部
非売品(季刊)

2025.4.20 Spring

No.
86

NEWS



理事長を囲んで

だれもが幸せになれる社会へ

職場で、地域で、社員のみなさんは
なにを考え、行動していますか？

2025年度ヤマト福祉財団助成金が決定

助成先レポートVol.51

(NPO)COR (広島県尾道市)

農業未経験だからこそスマート農業で稼ぐ

リレーコラム 夢をつないで

第34回

有限会社ドアーズ代表取締役
社会福祉法人慶光会理事長
柴田 智宏



Profile

鳥取県倉吉市生まれ。2005年(社福)蒜山慶光園に入職。「ワークスひるぜん」副所長。2006年同法人「ワークスひるぜん」所長。2008年同法人理事・就労支援部長。2013年有限会社ドアーズ代表取締役、ペットフード事業を開始。2015年10月(社福)蒜山慶光園理事長。2016年法人名を「(社福)慶光会」に変更。2011年12月：第12回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞

「地域の中で施設が 当たり前にあること」 ～ヤマトの社員さんの 活動を繋げていくピースに～

ヤマト福祉財団との出会いは、2005年のパワーアップセミナーに参加させてもらってからです。その後第12回小倉昌男賞を受賞させていただきました。当時は、障害のある人が地域を巻き込んで安心して暮らせるための「働く場のシステム」が評価され受賞したことへの嬉しさとその反面、そのシステムを一步一步着実に進めていけるか？という不安がありました。様々な困難はありましたが、パワーアップセミナーで学んだことを基本に進めていった結果、ペット関連商品を取り扱う多くの企業から仕事を受注できるようになりました。それに伴い利用者の給料も上げていくことができました。

そして今、ヤマト福祉財団からの助成で購入ができた「石臼」は単にそばを挽くだけではなく、14年前に計画した中の1つのシステムとして稼働を始めています。具体的には、地域の農家と契約し蕎麦を育ててもらっています。その蕎麦は慶光会に運ばれ、石臼で利用者が挽き蕎麦粉となります。その蕎麦粉を(別の利用者が)麺に生成し、袋詰め・箱詰めまで慶光会で行います。ここからは、出荷される様々な場所まで販売されます。これがいわゆる6次産業化といわれる仕組みです。

私たちは一つひとつのピースをつなぎ合わせていくように、生産者(農家)としっかりつながり、その蕎麦が障害のある人の労働保障につながっていることを理解してもらう努力をしています。そして販売者には、この製品が生産者(農家)と一緒に作っているものと分かってもらえるよう説明を重ねています。そしてお客様がそれらすべてを理解して購入いただけるシステムとなっています。

しかしここで忘れてはいけないのが、物流です。つながっている「お客様に届く」と一言で言っていますが、物がその場その場に届かなければ、意味がありません。6次産業化の基本は物流です。

今回の助成はその物流を支えるヤマト福祉財団からいただいたことに感謝しています。そしてヤマトグループの社員のみならずヤマト福祉財団を支えている事が、この大きな流れを創っていると思います。改めて、ヤマト運輸のみならず物流と助成が、障害のある人達を励まし労働を支えてくれることに感謝申し上げます。

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています

CONTENTS

表紙写真

新しくなったヤマト運輸本社ビル(A棟)で。「理事長を囲んで」の座談会に参加されたみなさんと山内理事長

03 理事長を囲んで
だれもが幸せになれる社会へ
職場で、地域で、社員のみなさんはなにを考え、行動していますか？

11 スワン工舎卒業生訪問
誠実さと働くよろこびが紡いだ互いの成長と絆

09 2025年度ヤマト福祉財団助成金が決定

12 助成先レポートVol.51
(NPO)COR 多機能事業所COR(広島県尾道市)
農業未経験だからこそスマート農業で稼ぐ



日本障害フォーラムが
推進するイエローボン
運動に賛同しています。



ヤマト運輸本社ビル2階受付前で
左から松田隆志さん、田中日和さん、山内理事長、小池快
虎さん、山村一樹さん



ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年に設立されました。基本財源は、初代理事長 小倉昌男氏が投じた私財。その活動を支えるもう一つの柱が、ヤマトグループ社員の賛助会費とヤマトグループ企業労働組合連合会による夏のカンパです。

日々障がいのある社員と一緒に働くみなさんは、職場や地域社会でどんなことを考え、行動されているのでしょうか。

今回は、労働組合三河支部 支部執行委員長の松田隆志さん、滋賀主管支店 大津大萱営業所グループ長の山村一樹さん、羽田クロノゲートベース障がい者雇用推進者の田中日和さん、西東京主管支店人事・総務の小池快虎さんに集まっていただき、お話を伺いました。

だれもが幸せになれる社会へ
職場で、地域で、社員のみなさんはなにを考え、行動していますか？

だれもが互いの良さを 認め活かし合える そんな会社に、 社会にしていこう

ヤマト福祉財団 理事長 山内雅喜



※農業ボランティアで
利用者さんと一緒に田畑へ

山内理事長（以下、理事長）

今日はお忙しい中、ありがとうございます。これまでこの座談会では、有識者もお招きし、障がい者が働く環境や支援制度のあり方などを語り合ってきました。今回は、社員のみなさんが日々感じていることをお聞きするとても良い機会だと、楽しみにしています。

松田隆志（以下、松田）

そうお聞きするとなんだか緊張して来ますね。

理事長 肩の力を抜いて気楽にいきましょう（笑）。最初に松田さんからいきましようか。財団では、ヤマト運輸労働組合と連携してボランティア活動を展開しています。その一つが各支部の近くにある福祉施設の農作業の

お手伝いです。三河支部では2021年に（社福）無門福祉会と一緒に活動しましたね。

松田 そこから、毎年自主的に農作業のお手伝いに何うようになりしました。春にサツマイモの苗の植え付け、秋には収穫など、基本的には年2回。人数はご家族も含め20〜30名くらいです。

理事長 参加者たちの感想は？

松田 ボランティアという堅苦しい捉え方ではなく、イベントみたいな感覚ですね。特に子どもたちが大喜びで、畑で焼き芋をつくったり女性たちも虫やミミズが出てこようが関係なく利用者さんたちと一緒に土にまみれて楽しんでます。地元のスーパーで売っている無門福祉会の美味しい椎茸などを、障がいのある方たちが、こんなに楽しそうに丹誠込めて育てているんだ、とわかるだけでも良い体験になっていると思います。

理事長 いまや障がいのある方は、日本の農業を支える重要な働き手として期待されています。無門福祉会は、無農薬・無肥料・無除草剤の自然栽培で、安心安全な農作物を作られているんですね。

松田 お米も野菜もどれも美味しく、お昼の炊き出しも楽しみの一つです。そんな様子を組合の広報誌で紹介し、五名ほどですけどお米を抽選でプレゼントもしています。一度参加した方は、「ぜひ次も！」となり、参加者を募ると自然に集まってくるよう

みなさんの応援で、本財団の活動は成り立っています

障がいのある方の
「自立」と「社会参加」を
支援します

財団の主な活動

- 障がい者福祉助成金
- 障がいのある大学生への奨学金支給
- 障がい者の働く場パワーアップフォーラム
- 育成プロジェクト
- ヤマト福祉財団 小倉昌男賞の贈呈
- 復興・再生支援事業

労働組合の

夏のカンパ金

社員のみなさんの

賛助会費

ヤマトホールディングスの

法人賛助会費



基本財産

ヤマトホールディングス
株式が100%

小倉昌男初代理事長が
私財を投じたヤマトの株

320万株

ヤマトグループ拠出金に
よる株

35万4,500株

株式の配当金

になりました。

ベースで働く障がいのある方の 悩みや問題を解決する窓口

理事長 田中さんの羽田クロノゲートベースには、障がいのある社員は何人いらっしゃいますか？

田中日和さん（以下、田中）

現在、31名が働いています。

理事長 全員の仕事の指示を田中さんが出されているのですか？

田中 荷物の仕分けや掃除など現場での指示は、各グループ長が行っています。私は障がいのある方の窓口であり、サポート役です。なにか問題があれば一緒に解決していきますし、ときにはご自宅まで訪ねてご家族ともお話をします。また、高校を卒業してヤマトに入社を希望する方が、仕事内容や職場の雰囲気事前に知るための実習なども私の担当です。

理事長 頼れるお母さんみたいな存在だと聞いていますよ。田中さんは、ヤマトで働く前から障がい者福祉に携わっていたのですか？

田中 障がいのある方が、学校を卒業していきなり社会に放り出されてもなかなかうまくいきません。私の実家は、その準備のための自立支援ホームをやっていました。私がヤマトに入ったきっかけは、南東京ベースでアルバイトをしたとき、ヤマト運輸という会社が、障がい者雇用や福祉に対して真摯に取り組まれていると知っ

たからです。ここなら私もなにかできるかもしれないと入社しました。

理事長 ヤマトグループ社員の行動指針には「障がいのある方に対する雇用機会の提供や自立支援活動を推進する」と記されています。これは小倉昌男さんが自ら書き加えた言葉です。ヤマトグループは、社会的に弱い立場にいる方もみんなが生きがいを持って働き、楽しく暮らせる、幸せな社会を築くお手伝いをする会社でありたい。この意志を全社員が受け継いでいますが、働きながら直接関わり続けるのは難しい。そこで私たちヤマト福祉財団が、みなさんの想いを受け取り、さまざまな形で障がいのある方の支援活動を展開しています。

松田 そんな活動資金の一つが組合員からの夏のカンパですが、ベースで働く外国人のアルバイトも一緒にカンパしてくれています。

ボランティアというより 楽しいイベントとして 家族揃って参加する方が 多いですね

労働組合三河支部 支部執行委員長 松田隆志さん

ヤマトグループ ボランティアプロジェクト

本財団は、ヤマト運輸労働組合と連携し、2021年より「ヤマトグループボランティアプロジェクト」を開始しました。その一つ「農業編」では、全国各地の障がい者福祉施設へ、各支部の組合員がご家族と一緒に伺い、障がいのある方とともに汗を流し、農作業、農作物の収穫などを行いながら、障がいのある方たちや障がい者福祉施設への理解を深めています。



三河支部は、(社福)無門福祉会でボランティア活動を行っています

ヤマトに入って 障がいのある方と 一緒に働くことが 当たり前だと思えるようになった

西東京主管支店 人事・総務 小池快虎さん



理事長 ありがたいですね。

松田 さらにうれしかったのは、協力会社のドライバーのエピソードです。「これ使ってくださいー」って封筒を渡してくれたのですが、なかには千円札と一緒に一万円札が2枚も入っている。本当にいいの？って聞いたら、有り金全部持って来たって言うんですよ。

理事長 それは凄いです！

松田 もう感動してしまいました。

仕事ぶりを見ていけば
特別扱いなんて不要だとわかる

理事長 一緒に仕事をされている小池さんはどうですか？

小池快虎さん（以下、小池）

西東京主管支店の人事・総務では、2名の知的障がいのある方が働いています。1日のルーティンは、社内便の仕分け作業、備品セット、交通費の整

理など。書類整理は、依頼があれば他課の仕事も対応してもらっています。

理事長 PCも使っているの？

小池 データ入力などですね。たとえば、ベースで働くアルバイト約300人の契約更改には、膨大な情報量を入力しなければなりません。それを黙々と的確に行い、確認作業も正確でとても助かっています。

理事長 仕事の説明をする際に気をつけていることは？

小池 順序立てて丁寧に説明するようにはしていますが、それだけです。普段の会話も他の社員同様に特別な気遣いなどなく、頼れる同僚としか見ていません。それどころか、毎朝元気に挨拶し職場を明るくしてくれているし、担当タスクをテキパキと終わらせ、手が空くと自ら事務所の掃除までも。その仕事ぶりには頭が下がります。

理事長 彼らと一緒に仕事をして、小池さんご自身になにか変化は？

小池 お二人のバッグには、ヘルプマークという赤いバッジが付いています。そのバッジの意味を理解したことで、自然に目がいくようになりました。すると思った以上にバッジを付けている方が身近に多いことがわかって来たんです。

理事長 いまは12人に1人が何らかの障がいを持っているからね。困っている人を見つけたら相手のことを考えて自然に手を差し伸べる、そんな行

ヤマト運輸の障がい者福祉推進体制

2025年3月現在

組織	担当	役割
主管支店	障がい者雇用推進者	・特別支援学校や福祉施設、ハローワーク等との関係構築および採用活動 ・職場定着のための職場教育、フォロー巡回、職域拡大、その他諸問題の対応
地域統括	障がい者雇用推進者	・目標達成に向けた管下主管支店の活動支援 ・地域統括 障がい者雇用推進者会議の企画・運営
本社	EX推進課	・全社方針策定および障がい者福祉に係る施策の立案、推進 ・障がい者雇用推進者への学習機会の提供 ・福祉三団体との連携窓口



動が当たり前の社会にしていきたいですね。

自分にできるプラスの提案でより良い関係を築きたい

理事長 山村さんはどうですか？

山村一樹さん(以下、山村)

僕は天津大萱営業所のグループ長で、職場の同僚に精神障がいのある方がいます。お客様では大荷主の(社福)共生シンフォニーさんのがんばカンパニーという焼き菓子工場で、障がいのある方がたくさん働いていますよ。

理事長 あそのクッキーは人気がありますよね。月に扱う量はどれくらいですか？

山村 大きなダンボールで300、400個ぐらいです。

理事長 共生シンフォニーを創設された中崎さんは、障がい者福祉の世界では有名な方なんです。利用者さんが働く上での支援はもちろん、事業も成功を収め、高い給料支給を実現されました。その経営方法など、他の福祉施設にも知ってもらいたいと、財団が開催するパワーアップフォーラムや実践塾などでも講演いただいています。

山村 そんな偉い方だったんですか。いつも「遊びに来ました！」と気軽に挨拶していました。

理事長 中崎さんなら、その方が喜ぶでしょう(笑)。利用者さんとはど

んな会話をしているの？

山村 障がいがあるとか意識したことはありません。中崎さんや職員の方とお話すると変わらず、普通にたわいもない世間話をしています。そういえば、僕がグループ長として初めて営業したのは、がんばカンパニーでした。

理事長 商品がもつと売れるように「Eコマースもこういう形でやってみたらどうでしょうか」とか、お手伝いできることはどんどん提案してください。それが利用者さんの給料増額につながっていきますからね。

山村 お互いにプラスとなる方法を考え、より良い関係を築いていきたいと思っています。

ヤマトで働いている喜びを
噛み締めながらこれからも

理事長 山村さんは障がいのある方

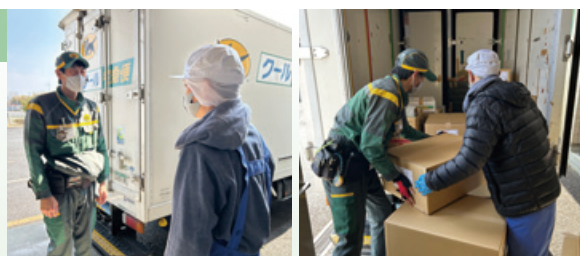


すべてのお客様にもっと 喜んでいただけるように その努力は惜しみません

滋賀主管支店 天津大萱営業所 グループ長 山村一樹さん

社会福祉法人共生シンフォニー様

滋賀県大津市の琵琶湖のほとりにある(社福)共生シンフォニーの理念は「共生・共働・共有」です。「人生をみんなと一緒に奏でていこう」を合い言葉に、すべての利用者さんが夢とやりがいを持って働き自立していけるように支援。「できることは人によって違うのだから」と、いろいろな仕事を用意しています。現在は、障害福祉サービス、食料品製造・焼き菓子製造販売、公益事業と幅広く障がいのある方を支援。その事業の一つ「がんばカンパニー」の人気商品は、国産の材料を中心に安心安全にこだわり抜いたクッキーです。毎日1トン近くの焼き菓子を製造し、全国各地の自然食品店やネットで販売しています。



「こんにちは! いつもありがとうございます」
がんばカンパニーの利用者さんから荷物を受け取る山村グループ長

みんな自分の仕事に 誇りとやりがいを抱き 働いてくれています

羽田クロノゲートベース 障がい者雇用推進者 田中日和さん



のご自宅にも伺うと思いますが、心がけていることはありますか？

山村 障がいのある方は、インターホンを鳴らしてもすぐ動けなかったりします。なので、焦らず待つようにと同僚にも伝えていきます。集配や配達時は気持ちちはやり、反応が遅いとすぐまたインターホンを押してしまいがちです。

理事長 お客様視点での対応だね。

山村 僕はつねにお客様に嫌な思いをしてほしくないと考え、行動しています。これは小倉昌男さんの影響でもあるんです。著書もいろいろ読ませていただいています。

小池 私は入社前ですが、経営学の本を読みました。

理事長 若い世代に小倉さんの精神が、きちんと継承されているのはうれしいですね。障がいのある方の働き方についてもしっかり考えてくれてい

る。小池さんが話していたように、一つのことに集中して働くことができる人とかもいるので、適材適所で得意な仕事に就けるようにしていきたいですね。

田中 彼らは凄いですよ。たとえば、仕分けコードをすべて暗記している人もいます。なによりみんな自分の仕事に誇りを持っている。先日雪が降って大変だったとき、足に少し障がいがある方が一生懸命ボックスを運んでいたんです。大丈夫？って聞いたら、「これは俺の仕事だから任せとけ」って！それを見てはうれしかったです。

でもそれは我々にとっても、とても大切なことです。障がいのあるなしなんて関係なく、互いの良さを活かして一緒に仕事ができる。そんな会社、社会であってほしいですね。

松田 変わるべきものは変えていき、変わるべからざるものはみんな守る。ヤマトとはそういう会社ですから。

田中・山村・小池 そんな会社で働いていることを誇りに感じますし、うれしく思っています。

理事長 みなさんは同じ志を抱く仲間ですね。その想いに応え、財団はこれからも活動していきます。

一同 よろしくお願いします！

障がいのある方たちの仕事ぶりを拝見しました

西東京主管支店

人事・総務の事務など



「好きな仕事は社内便の袋詰め」と話す渡邊天晴さんと小池さん(上)。乗馬が得意な田中亜輝斗さん(下)は入社したばかり。「渡邊さんがいろいろ教えてくれてます」と、お二人の息はぴったりです。



羽田クロノゲートベース

荷物の仕分け作業など



「忙しくて目が回りそうだった」と雪の日に大活躍した小坂貴博さんと田中さん(上)。石記寛大さん(下)は、実習で声が小さいと指摘され、支援学校の校庭で先生と一緒に声を出す練習をして入社しました。



※1：「小倉昌男 経営学」小倉昌男著 日経BP社刊

2025年度ヤマト福祉財団助成金決定一覧

(助成総数：62件 助成金額合計：1億3,175万円)



1. 障がい者給料増額支援助成金決定一覧 (助成数：34件 助成金額：1億1,146万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	決定金額
北海道空知郡南富良野町	障がい福祉サービス事業所なんぶ〜香房	ベーカリー機器の購入資金	249
北海道川上郡標茶町	みなやんワークス	菓子製造工場新設に伴う機器の購入とそれに伴う設置資金	338
北海道石狩郡当別町	Farm Agricola	ハンドフォークリフトとジョブサンの購入資金	500
山形県東陽郡川西町	就労継続支援B型事業所 Leap	薪作業用ワイヤーコンテナ購入資金	440
福島県郡山市	共働作業所にんじん舎	ブラソイラー、畝立て同時播種機、にんじん洗浄機、灌用水ポンプの購入資金	116
茨城県ひたちなか市	多機能型障害福祉サービス事業所ハートケアセンターひたちなか	電化焼き機の購入資金	99
千葉県千葉市緑区	オリブ鎌取福祉作業所	刈り取った草、剪定した枝葉を処分場に効率よく運搬するための2tトラックの購入資金	494
東京都世田谷区	社会就労センターパイ焼き窯	菓子製造部門の設備整備のための資金	130
静岡県沼津市	就労継続支援(B型)事業所クローバー	箱折機(ケースフォーマー)・梱包機(自動梱包機)購入資金	100
三重県鈴鹿市	アクティブ鈴鹿	ワイヤーハーネス生産設備購入資金	250
滋賀県栗東市	おもや	新規農業施設の建設資金	500
滋賀県栗東市	自立就労センターバレット・ミル	発泡スチロール減容機の購入と、資材保管用テントの設置資金	500
滋賀県蒲生郡竜王町	創作ヴィレッジこりり村	パティスリー設置のための改装費および設備導入資金	500
滋賀県大津市	ShakeHands・浜大津	アニメーション制作3DCG対応高性能パソコンの購入資金	250
京都府八幡市	JointJoy	食品製造に必要な機器購入資金	294
京都府久世郡久御山町	フォーライフshiki	カフェ運営に係る設備・機器および設置に要する資金	500
京都府京都市下京区	ル・クロラボ	商品製造オペレーション向上のための設備資金	370
兵庫県丹波市	きらめきワーク	菓子製造販売に使用する厨房機器等購入資金	300
奈良県天理市	大樹	タンブラー乾燥機導入資金	315
和歌山県田辺市	はまゆう作業所	オリジナルカフェ開店のための厨房備品購入資金	350
広島県福山市	JOBプラスはんど	コロック・メンチカツ用の食品成型機1台の購入資金	250
広島県東広島市	ワークサポートひなた	インクジェットプリンターの購入資金	500
山口県宇部市	緑豊舎	乗用モーターの購入資金	280
愛媛県松山市	就労継続支援多機能事業所あんずの森	レトルト殺菌器および真空包装機器等購入資金	500
愛媛県松山市	就労継続支援A型事業所Akari	新店舗の設備購入資金	500
福岡県太宰府市	とびうめワークセンター	乾燥機と圧着機の購入資金	355
福岡県糟屋郡須恵町	YUZUKA	スチームラックオープン購入資金	500
福岡県北九州市小倉北区	ほうぼく第2作業所	堆肥作りと圃場づくりのための機械導入、病害虫に強い作物を育てるためのビニールハウス導入資金	110
長崎県南島原市	ノーブル	食品加工事業の機器購入資金	160
長崎県雲仙市	地域就労事業所野の花風館	農産物加工に必要な専用機器の購入資金	250
大分県佐伯市	ネクストライフ	生産者農家等を廻り杉苗を回収、選別管理する利用者と杉苗を管理所まで乗せて運ぶための車両の購入資金	300
宮崎県児湯郡新富町	障害者支援施設あゆみの里	水耕栽培装置2機およびビニールハウス1棟設置資金	250
鹿児島県姶良市	サンテリア愛ら	ユニフォームクリーニング用水洗機購入資金	276
鹿児島県鹿屋市	自立支援センター太陽の丘	農機具導入の資金	320

2. 障がい者福祉助成金決定一覧 (助成数：28件 助成金額：2,029万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成企画	助成内容	決定金額
北海道札幌市豊平区	NPO法人福祉のしゃべりば	「誰もが主役になっていいじゃん」ユニバーサル運動会事業	スポーツ活動	40
宮城県仙台市宮城野区	一般社団法人MOTTO	MOTTOパラ陸上クラブ	スポーツ活動	100
宮城県仙台市泉区	NPO法人UBUNTU	重度障害児・者のためのジョブラボ事業	文化活動	86
群馬県前橋市	社会福祉法人ゆずりは会	「農福連携フォーラムinくま〜農福連携の可能性と未来〜」(仮)	講演会	60
神奈川県川崎市宮前区	一般社団法人ピッカ	みんな輝け!ピッカピカ祭り<生演奏と舞踏&マジックによる文化芸術公演>	文化活動	100
東京都千代田区	特定非営利活動法人ウィーログ	大阪2025デジタル版バリアフリーマップ制作・発行事業	出版	100
東京都千代田区	一般社団法人東京TSネット	コミュニティ・トラブルシューターの養成およびネットワークの構築	ボランティア活動	100
東京都新宿区	社会福祉法人日本視覚障害者団体連合	リーフレット「視覚障害者にとって差別ってどんなこと?」改訂版発行プロジェクト	出版	85
東京都新宿区	(一財)インターナショナル・ブラインドフットボール・ファウンデーション	視覚障がい者ビジネス実践知ワークショップ	会議	35
東京都文京区	全国盲ろう教育研究会	視覚と聴覚の両方に障害を有する盲ろう児の相談会および支援会議	会議	100
東京都文京区	特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟	知的障がい者フットサル地域連携プロジェクト	文化活動	70
東京都港区	全国医療的ケアライン	医療的ケア児者の自立に向けた生活実態調査	調査	100
東京都中央区	一般社団法人Arts and CreativeMind	StrikeGoldArt for "NoConcept" - 作為なき表現者たち	文化活動	100
東京都中央区	特定非営利活動法人AYA	講演会「インクルーシブな社会をAYAとともに目指そう-AYA代表で医師の中川がつなぐ架け橋-」	講演会	100
東京都国分寺市	国分寺市移動支援連絡会	移動支援週末グループ活動	文化活動	20
東京都小金井市	共生アート&協働アートin小金井	Fugue〜障がい者アートとJAZZのポリフォニー〜	文化活動	50
愛知県半田市	農園バンドグリーンエンジェルズ	目が見える、見えないに関係なく、音楽という共通言語で集える地域の音楽祭開催	文化活動	93
愛知県名古屋市中区	特定非営利活動法人ドリーム	地域の脳卒中障害者同士のコミュニティ形成をつくるピアサポート事業	ボランティア活動	29
愛知県愛知郡東郷町	ふれあい弁当東郷食守族	視覚障がい者交流&自立のための「ブラインドCafe」	ボランティア活動	60
三重県いなべ市	桐林館喫茶室【筆談カフェ】	「桐林館喫茶室〜筆談カフェとアール・ブリュット〜」(仮)書籍化プロジェクト	出版	100
大阪府東大阪市	パンジメディア	知的障害のある人の「私の歴史」のLLブックの出版	出版	100
大阪府大阪市東淀川区	一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi	手話ワークショップ〜ENJOY&STUDY〜	会議	51
奈良県橿原市	ボランティア団体スノーキャンパス	こどもたちの未来創造プロジェクト学びを助ける支援ツール体験展示会	講演会	23
広島県広島市中区	特定非営利活動法人心の絆ネットワーク	「だってしょうがないじゃない」上映と後見を考えるミニフォーラム・後見入門講座開催事業	講演会	50
愛媛県宇和島市	点訳グループつわがき	点訳者養成のための講習会への参加費用とパソコン修理費用	ボランティア活動	16
高知県室戸市	特定非営利活動法人夢創房室戸迎鯨の杜	スポーツでつなぐ「友情」、「協力」、「喜び」の学び舎プロジェクト	スポーツ活動	91
福岡県糟屋郡須恵町	ライフサポートSAKU	障がい者が地域の中で「役割と関わり」を拡げていくための「障がい者地域デビュー」PDCA型調査	調査	70
沖縄県石垣市	オンラインST研究会	オンラインSTを普及するためのプロジェクト活動	研究	100

障がい者給料増額支援助成金 選考施設

障がいのある方々の給料を増額するための新事業の立ち上げや、生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金を助成します(助成先を一部ご紹介します)。

就労継続支援多機能事業所
あんずの森(愛媛県松山市)

500万円

レトルト殺菌器および真空包装機器等購入資金

- 2023年度平均給料 B型24,815円(15人)
- 2026年度目標給料 B型35,810円(18人)

ペットフードのレトルト商品を提案して給料増額へ

あんずの森のB型事業所では、施設内作業として主にペットフードのリパック作業を行っています。受注数量の増量が見込めない状況です。そこで、ペットフード業界の繋がりを活かし、レトルトフードの製造依頼があるのに断っている現状や、レトルト商品に取り組みたいと考えるメーカーが存在することをチャンスと捉え、市場ニーズのあるレトルト事業への新規参入を計画しています。

高額なレトルト殺菌機・真空包装機械等を導入することでまずはOEMで製造技術を身につけ、ペットフードや、メディカルハーブの専門知識を活かし、提案やODM*を行い給料増額に大きく舵を切りたい。県内には、規格外の農作物をはじめ、魚の未利用部位や未利用魚、鳥獣被害の駆除からでるジビエ肉など廃棄されている材料が多くあり、それを活用することで地域貢献にもなります。

素材を提供できること、企画・提案によるODMで、利益確保も可能となり給料増額にむけて、5万円をめざす一歩となります。

※ODM：委託者のブランドで製品を企画～製造までを一貫して請け負う形態

就労継続支援B型事業所Leap
(山形県東置賜郡川西町)

440万円

薪作業用ワイヤーコンテナ購入資金

- 2023年度平均給料 B型42,978円(10人)
- 2026年度目標給料 B型31,667円(20人)

ワイヤーコンテナ導入で、売上増と給料増額を

Leapのメインの作業は薪ストーブ専門店の関連会社から受託する薪づくり、焚きつけづくりです。現在、薪づくりの工程で人手と時間がかかり、また薪を積み上げる作業では技術が必要なため、できる人が限られ生産量が増やせない状況です。加えて当事業所だけで生産が追いつかないため、他の就労支援事業所にも協力していただいている現状です。

薪の販売は需要に供給が追いついていないため、受注を断ることもあります。生産量さえ増やすことができれば売上増、給料増額が見込めます。

助成金で、「ワイヤーコンテナ」を導入することで、薪積みの技術的なハードルを下げるのと同時に、薪割り後の乾燥場所の移動や販売時の積み込み作業を削減できます。具体的には、延べ8人で2時間半かかっていた作業が、ワイヤーコンテナ導入後では延べ4人で作業が1時間20分で完了する予定です。これにより、薪割り作業に人員を割り当て、生産量を増やす事ができるようになります。また、作業を委託している就労支援事業所さんの売上増も見込めます。

フォーライフshiki
(京都府久世郡久御山町)

500万円

カフェ運営に係る設備・機器 および設置に要する資金

- 2023年度平均給料 A型116,636円(31人)
- 2026年度目標給料 A型132,530円(35人)

重度の方が遠隔操作ロボットでカフェの接客を

企業での就労が困難な重い障がいのある方のセーフティネットとして、事業開始以来一貫して雇用契約に基づく就労支援に取り組んでいます。主な仕事は紙器加工をはじめ包装・シール貼り等の軽作業ですが、年々最低賃金が引き上げられる一方で、受託事業による加工費は据え置かれ、実質的には減収となっています。

収益性の高い安定的・継続的な自主事業の確立を模索し、2019年度に珈琲事業会社の協力を得て、珈琲焙煎加工事業を開始。コロナ禍で計画通りに進みませんでしたが、宇治市内の2カ所でカフェを運営しています。また2025年度秋に開設される「久御山まちづくりセンター」内でカフェ運営を予定しており、すでに宇治市のカフェでも導入している、遠隔操作ロボットを活用した接客や近隣事業所へのランチメニューのデリバリーサービス等、重い障がいのある人や引きこもり状況にある方達の雇用機会を提供します。

助成金で調理器具や冷蔵庫等、基本的な機器を購入、設置してカフェを整備し、利用者さんの給料増額に取り組めます。

みなやんワークス
(北海道川上郡標茶町)

338万円

菓子製造工場新設に伴う機器の購入と それに伴う設置資金

- 2023年度平均給料 B型24,357円(10人)
- 2026年度目標給料 B型25,128円(13人)

法人事業所の火災焼失を乗り越えて菓子工場を新設

みなやんワークスは、放課後等デイサービスを卒業する利用者さんにあわせて設立した事業所です。主な事業は、幌加内産そば粉を使ったスイーツの製造・販売や放課後等デイサービスの利用者さんや社員に提供する給食事業等です。

人口の少ない標茶町で、何をすべきか悩み、市場にあまり出回っていないそば粉100%のスイーツを製造販売することを決断。ロールケーキ、タルト・パイをはじめ最近ではバースデーケーキの注文も入るようになり、リピーターも増えてきました。しかし、厨房と食堂が狭く、給食も作っているため、並行して菓子を製造しようにも材料を置くスペースも確保できない状態です。

じつは昨年10月、法人が経営する放課後等デイサービスが焼失しました。この試練に立ち止まらず、放課後等デイサービスの新築にあわせて菓子工場を併設し、事業を拡張する決心をしました。助成金によりコンベクションオープンや冷凍冷蔵庫など、厨房機器を設備し、大口の注文にも応えられるようになります。

ヤマト・スタッフ・サプライ(株)／2002年に設立。物流を中心とした人材派遣事業のほか、軽貨物配送事業、民間初の国土交通省認定機関として運転適性診断などの安全教育事業を全国展開しています。



職場の皆さんと。(後列左端・長谷川支店長。前列左端より根岸さん、小野寺さん、西海さん、職場のみなさん)

誠実さと働くよろこびが 紡いだ互いの成長と絆

真面目で明るい性格にみんな一目惚れ！ 2回の実習を経てご本人も働きやすさを感じ、相思相愛で入社を決断。PC入力作業を中心に貴重な戦力として活躍しています。

■社会福祉法人ヤマト自立センター スワン工舎 就労に必要なスキルの習得はもちろん就労先の開拓から就労定着支援員による就労後のサポートまで一貫したプログラムで「はたらくよろこびをともに…」をモットーに、障がい者の自立支援に取り組んでいます。

取材当日は安全講習が催されており、ふだんより少しにぎやかな支店内。そんな中でも落ち着いて机に向かうのは小野寺瑠衣さん。キーボードの上で踊る指先は流れるように軽やかです。

「彼女の入力は正確でミスがないですね」と評価する長谷川聡支店長。小野寺さんの仕事に対する前向きさも、同支店での初の障がい者雇用を強く後押ししました。

小野寺さんが主に担当しているのは、平均して毎日100人分のFAXで送られてくる派遣社員のタイムシート(勤怠情報)を管理ソフトに入力する作業。ですが、社会人経験はなくちよっぴり人見知り。PC操作につ

打ち解けられた職場は大切な場所
これからも頑張っていきたい



「みんなが優しくて、ずっとこの職場で頑張っていきたい」と語る小野寺瑠衣さん。

小野寺 瑠衣 さん ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社(2023年9月16日入社)

役所などの紹介からスワン工舎に入る方がほとんどの中、自ら電話し応募してきた小野寺さん。向上心豊かで読書家でもあります。戦国物が好きで最近の愛読書は今村翔吾。ホロライブ推しでグッズ集めも趣味の一つです



いてしっかりと学んだことはないのだそう。

スワン工舎で「パンの前に置くプライスカードを作ってみて…」ときっかけを語る小野寺さん。以来メキメキ上達しました。

彼女の働きぶりをそばで見守っていた二人がいます。現在、一緒に仕事をしている西海詩織さん曰く「小野寺さんはちよっとアドバイスすると、すぐにできる。逆に質問をしてくれることもあって気づきを感じられます。すごく信頼しています」

入社したての頃を振り返る根岸美由起さんは「業務を覚えてミスなくこなすことが成長の一步目でした。当時は机にいっぱい付箋を貼って」目を細めます。

仕事ができるのでつい頼みすぎてしまい、最初の冬にはパンクしてしまったこともありましたがお互い本音で話し合って解決。二人三脚で来た二人でしたが昨年6月、根岸さんに別支店へ異動の辞令が。「寂しいといった内容のLINEをもらい、私だって寂しい…」と根岸さん。

端で見ていた西海さんの目にも「テンションが低くなっている感じはしましたけど、責任感も強い彼女は自分の中できちんと整理をつけたようで。強いなと感じています」

「最近、仕事を振ってくれるのが嬉しい」と日々、はつらつと励む小野寺さん。ぜひ正社員を目指してほしいと支店長も応援しています。

農業未経験だからこそスマート農業で稼ぐ

尾道は「坂の街」の異名とともに、数多くの文学・映画の舞台として観光業や商業が盛んです。請負を中心に就労支援に取り組んできた多機能事業所CORは脱請負を一念発起。雑草が生い茂っていた耕作放棄地にハウスを建て、アスパラガス生産に挑んでいます。

Data

NPO法人COR 多機能事業所COR (広島県尾道市)

2023年度 障がい者給料増額支援助成金(500万円)

助成内容：アスパラガス栽培のためのビニールハウスと制御システム機器の設置資金

就労継続支援B型在籍6名 就労移行支援7名

(2024年度)売上 1,673万円／月額平均工賃 約32,000円



ハウス内は枠板で囲んだ高畝が2列設けられており、間の通路は車いすもラクラクの広さを取ってあります



3月になっていよいよ伸びてきた若茎。春・夏秋の2季採りが可能で、初物はシーズンを通して品質も最高



助成を活用して完成した片屋根型ハウス2棟。温度制御が可能な片屋根式の普及を進めていた香川県農研機構に協力を仰ぎ、無償で設計図面を作成していただいたという

脱「請負依存」へ舵を切る

まだ肌寒い圃場に片屋根型の2つのビニールハウスが見えてきました。間口約6m×奥行き40m。昨年2月に完成したばかり。2棟で総工費は1,150万円ほどを要しましたが、IoTを駆使したスマート農業に対応した最新の設備です。この投資の一部に当財団の助成を活用して、実際に漕ぎ着けたのが多機能事業所CORです。広島県尾道市。2014年の設立以来、引きこもりや障がい者の就労支援に力を注いできたCOR。古物の清掃や部品加工といった請負、仕出し弁当店の洗い場など施設外就労を通じて、利用者の適性を探りつつ、能力と就労意欲の育成をサポートしてきました。

しかし事態を一変させたのがコロナです。

「全部、影響を受けたんですよ。工場の仕事も半減くらいボンと落ちて。もうほぼ全滅でしたね」と理事長の上田信之さん。工賃支払の収支

は2020年度、赤字に陥りました。独自の事業を持たないといけない。そこで下した決断こそ農業事業への参入でした。「コロナの2、3年くらい前から、これからどういった産業が良いのか、少しは調べていたんですね」と明かしてくれたのは看護師資格も持つ、管理責任者の佐々木真実さん。

「これからはIoTと食だと思っていたんですけど、今から私たちがIoTに入っていくのは難しい。農業は食料自給率の面でも貢献できますし、多種多様な仕事があるので利用者さんが分担しながら皆が関われる。すごく魅力的だな。工業に比べれば経済動向に左右されることも少ないと思います」

正解選べが初心者には難しい

情報を集めるうちに狙いを定めたのがアスパラガス。収益性が高く、「24cm以上は切る」といった具合に収穫基準が明解。運搬も軽くて、作業者



新倉敷の駅そばに2023年1月、オープンさせた「アスパラや玉ねぎ屋」。目指したのはマルシェ。収穫した野菜と日替わり弁当を販売しています



アスパラの収穫を利用者さんの指導を受けて体験した今岡委員長(中央)と佐原書記長(右隣)



「一番苦労したのは、環境制御技術を取り入れ、強度の高いハウスを整備するための資金繰り」だったと口を揃える上田理事長(左)と、管理者の佐々木さん(右)



土壌センサーの情報を元に、水・液肥を自動調整、温度管理も自動で行い、データは県の農業技術センターにも送信されています

を選びません。また、一度植えると10年以上も収穫できる永年作物で、毎年耕起する必要がないことも魅力でした。

「理事長と私とで、J Aや県の農林水産課など、さまざまな窓口に話を聞いたり、研修に行きました。最初は全然相手にしてもらえなかったんですけど、次第に親身に相談に乗ってくれるようになりました」

ハウスが建つ場所は、J Aの営業職員が仲介してくれた耕作放棄地です。農林水産課に紹介されたのは県の農業技術センター。

「博士号を持った先生方が何回も指導に来てくれました。最初のうちは身近で尋ねやすいJ Aの方や近隣の農業経験者を頼っていましたが、意見が一致しませんでした。するとJ Aの方が『佐々木さん、農業には人それぞれ独自のやり方がある。初心者には全部を聞いていたらダメですよ。まずは農業技術センターの方法に徹することが、成功への近道ですよ』とアドバイスをくれました」

2020年、練習としてまずは玉ねぎに挑戦。翌年からアスパラガスを始めました。

絆で育つ、絆が育つアスパラガス

県ではちょうど広島アスパラ800プロジェクトを掲げています。これは温度・かん水・施肥をITも駆使して管理し、露地物の生産量を800%に引き上げようという野心的な試みです。

当財団の助成を活用した2棟のハウスでも、農業技術センターの指導によるスマート農業が採り入れられています。センサーが温度や土壌の水分を計測。自動的に換気や水やりの機械が作動します。

労働組合支部執行委員長 助成先訪問 Series 46

ヤマト運輸労働組合
三次支部執行委員長
今岡 稔さん



人の成長に貢献できるやり甲斐

障がい者さんたちが楽しく仕事される姿はやっぱりいいなと思いました。引きこもった人が外に出ていくのは簡単ではないけれど、農業を通じて自信をつけ、次のステップへと進んでいく…。成長をしていくことがしみじみと分かり、カンパを通じてやり甲斐をもらった感覚を得ました。

同時に夏のカンパが、障がい者のみなさんのお役に立っていると、組合員の皆さんには広くお知らせしたいですね。

夏の時期、収穫したアスパラガスが余ることがあるという話をお聞きました。支店内で相談しないといけないアイデアですが、主管で社内販売できたら良いなと…これからもさまざまな形で貢献していきたいと思っています。



「井戸のポンプが真夏に故障したのですが、センターから『異常はありませんか』と、電話をいただき事なきを得たこともあります」と佐々木さん。データはセンターへも送信されているため、生育や病気についていち早くアドバイスが受けられます。

ハウス内でアスパラガスは2列の枠板式高畝で栽培されており、作業負担の軽減はもちろん、幅広にとった畝の間は車いす移動もスムーズと、独自の工夫も施しました。

収穫したアスパラガスは配食事業者に納入するほか産直で販売。2023年には駅近くに店舗を開いて採れたアスパラガスと、収穫野菜をつかった日替わり弁当の販売も始めました。お弁当は日に80食も売れる盛況ぶり。地道に農作業に励む姿は、次第に周囲の方々に認知され、

お祭りへの出店なども含め、請負事業だけでは味わえなかった地域との交流も、全員で実感しているそうです。

現在の月額平均給料は約3万2000円ですが、売上は右肩上がりです。今後は「らくうるカート」を利用したネット販売も手がける予定です。

生産活動に手応えを感じる佐々木さんは「今年とは行なくても再来年には5万円を実現したい」と意気込みます。

団体名のCORはラテン語の「心」に由来します。「利用者さんの就職先が決まると、その家族が明るくなるんです。それを見ていい仕事だと思った」と上田理事長。そのためには永く継続させることを大前提に、取り組んでいきたいと語ってくださいました。

YWF TOPICS

販路拡大研究会

第3回お菓子の販路拡大研究会

2月13日～15日

包装・パッケージデザインをテーマに

第3回は、消費者の目に留まるパッケージデザインがテーマ。開催場所は「(社福)オリーブの樹オリーブ轟(千葉県千葉市)」です。中崎会長よりパッケージの工夫や、カスタマイズについて講義を受け、研究生も好事例を発表しました。さらに東京ビッグサイトで開催された「ギフトショー」を見学。たくさんのブースを回って研究生各自で包材業者と商談を行いました。最終日にはブランディングの講師を招き、事例を元に売上拡大につながる商品作り、デザイン・ブランディングについて学びました。



販路拡大研究会

第2回お菓子の販路拡大研究会

1月16日～18日

原価計算と販売金額設定を学ぶ

第2回の見学勉強会を「(社福)三環舎あしたば園(鹿児島県奄美市)」で開催しました。あしたば園は、島の特産である黒糖を使った「フルーツケーキ黄金花」を製造しています。お菓子製造の見学、中崎会長と児玉研究生による「原価計算と販売金額設定の考え方」「就労支援会計の基本理解」についての講義、研究生の討議による「売り上げ目標設定」など、盛りだくさんのプログラムで実施しました。

最終日には、奄美群島の素材を活かしたジェラートの製造販売で成果をあげている同じ奄美市の「(株)リーフエッジ就労継続支援B型あまみん」を見学。代表の田中さんから商談会への積極的参加や、ネット販売だけでなく、実際のショッップを持つことで信用を得たことなど、販路拡大への苦労や成果などをお話いただきました。



ヤマト繋がるプロジェクト報告会 2月6日

障がいのある方や子どもたちに笑顔を届ける 地域ボランティア

ヤマト運輸労働組合青年部と大学生が繋がり、地域の福祉に貢献するボランティア活動「ヤマト繋がるプロジェクト」の4回目となる報告会を2月6日、横浜の波止場会館で行いました。

初めてのボランティア、初対面で、しかもオンラインのコミュニケーションなど、さまざまな壁を乗り越えて、2024年5月から大学生、青年部が企画作りから当日の運営までを実施。3つのチームに分かれて、カラフルなうちわや、シーツにペイントをしてテーブルクロスやランチョンマットを作ったり、宝探し等それぞれの企画で、障がいのある方や子どもたちに笑顔届けました。何度も施設に通い、障がいのある方と触れ合ってきた学生や、オンラインの難しさを乗り越える企画を練り上げた青年部が、それぞれの苦労や活動を通しての気づき、喜びなどを報告しました。

山内理事長は、「6ヵ月間、辛いこともあったと思いますが、ここまで頑張ってきたことはみなさんの活動が、社会が良くなることに繋がっています。この輪が広がり、そこにヤマトグループも繋がっていきたい。今日は感謝がありとう」と、参加した学生や青年部にメッセージを送りました。



YWF TOPICS

ベルギーから学ぶ共同創造の精神医療改革2025 ～当事者・家族 ネットワーク 公的責任～ 開催 2月19日

共同創造の精神保健福祉をすすめる会による「ベルギーから学ぶ共同創造の精神医療改革2025～当事者・家族 ネットワーク 公的責任～」が2月19日に全水道会館で開催されました。

精神科病床数と平均在院日数が世界一の日本の精神医療の現状を変えるため、ベルギーの精神医療改革を中心的に担ってきた精神保健改革コーディネーターのBernard Jacob氏を日本に招き、2019年から継続して院内集会やオンライン学習会を開催してきました。

Bernard Jacob氏を再び招聘した今回の講演会では、会場とオンラインで350人を超える参加者が集まり、日本の精神医療への展望を見出すため、ベルギーの現在も続く精神医療改革の先進的な取り組みについて学びを深めました。

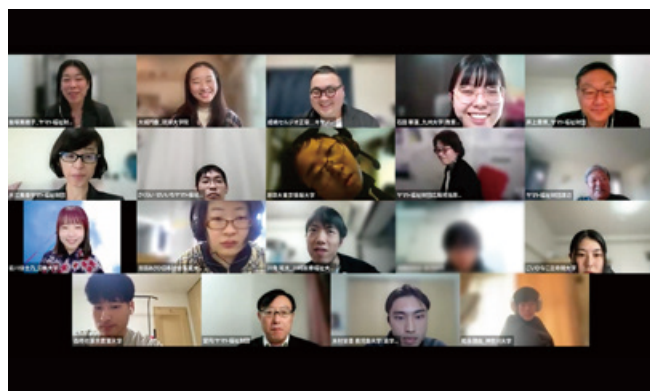


ヤマト福祉財団奨学生オンライン懇談会 2月8日 「奨学生」の接点をネットワークに

ヤマト福祉財団では、障がい乗り越えて社会の役に立ちたいと学ぶ大学生に月5万円の奨学金(返済不要)を支給しています。

先輩奨学生のキャノンマーケティングジャパン(株)に就職した成嶋セルジオ正章さん、琉球大学大学院に進学した大城円香さんをはじめ、現役の障がいのある大学生10名が参加して、昨年度に続き2回目となる奨学生オンライン懇談会を開催しました。就職活動真っ只中の現役奨学生から「就活で大変だったことはどんなことか?」の質問に成嶋さんは「自分の好きなことを仕事にしたかったので、何が好きなのか、どんな状況が好きなのか、なぜこの会社を選んだのか、自己分析を重ねたことで答えが出てきた。自己分析ができれば、面接やディスカッションは素直に自分を出せる場になる」と振り返ります。他にも、「どのように就活を進めたか」、「障がいがあることで、気をつけたこと」など、さまざまな質問に対して、丁寧に体験を話していただきました。

ヤマトの奨学生は一つの接点ですが、この接点の繋がりが、学びたいこと、困ったことや嬉しい出来事を共有できる価値のあるネットワークに広がっていくことを期待しています。



2025年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 「人は自立して生活することで幸せを感じられる」 開催のお知らせ



東京会場

テーマ：働くちからを掘り起こす

7月4日(金)10時～17時

灘尾ホール(東京都千代田区霞が関)

名古屋会場

テーマ：障がいのある人が自立するために働く場求めていること

9月12日(金)10時～17時

デザインホール(愛知県名古屋市中区)

参加登録方法

詳しくはヤマト福祉財団ホームページをご覧ください(5月上旬に公開します)



伊東屋様、ヤマトグループのみなさま カレンダー募金のご協力をありがとうございました

今年も文具専門店の伊東屋様(東京都中央区)からカレンダーのご寄付をいただき、ヤマトグループでカレンダーを通じた募金活動を行いました。募金額は492,171円となり、全額を(社福)ヤマト自立センターに寄付いたしました。ご協力をいただいた伊東屋様、社員のみなさまに感謝いたします。



山口主管支店



函館主管支店

お知らせ

ヤマト福祉財団ニュースが2025年度から年2回(4月、10月)の発行となります。



地域に愛されるお店を目指して

swan GINZA



ヤマト運輸本社ビルA棟1階にイタリアンフレンチのレストランswan GINZAがリニューアルオープンしました。
お年寄りも、お子さまも、ご家族も、お一人様でも、仲間同士でも、みなさんがくつろげる場所をswan GINZAが提供します。
どうぞ楽しいひとときをswanでお過ごしください



第26回ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募集

推薦募集期間:6月1日～8月31日

正賞:雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」／副賞:100万円

障がい者の自立支援などで、「この人をぜひ…」と思われる方を
ふるってご推薦いただけますようお願いいたします

※詳しくはホームページをご覧ください。第25回の贈呈式の模様もご覧いただけます

ヤマト福祉財団ホームページはこちら ▶

